

令和6年度新居浜市消防委員会 会議録

【日 時】 令和6年9月26日(木) 15時30分から16時15分まで

【場 所】 消防防災合同庁舎 3階会議室

【出席者】 新居浜市長 石川 勝行

(敬称略) 委員7名

市議会議員 仙波 憲一 高塚 広義 田窪 秀道

学識経験者 高橋 克彦 石川 隆文 徳久 恵子 秋月 恭子

消防職員10名

消防長 後田 武 総括次長兼消防総務課長 伊藤 英知

北消防署長 小笠原 泰 川東分署長 村上 信二郎

南消防署長 四ツ田 和寿 警防課長 柴田 三輝

予防課長 高橋 茂雅 通信指令課長 岡野 公則

北消防課長 加藤 宏彦 南消防課長 森 淳

事務局3名

消防総務課 宮武主幹 守谷副課長 菊池係長

【欠席者】 なし

【傍聴者】 0名

【会議録】

1 開 会

2 市長あいさつ

令和6年度新居浜市消防委員会の開会にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中、ご出席をいただき誠にありがとうございます。

また、平素より市政各般にわたり、格別のご理解とご協力を賜っておりますことに対しまして、この場をお借りいたしまして厚くお礼を申し上げます。

さて、今年8月に宮崎県日向灘を震源とするマグニチュード7.1の地震が発生いたしました。気象庁によりますと、南海トラフ巨大地震が今後30年以内に発生する確率が70から80%であり、切迫性の高い状態であると言われております。

また、愛媛県地震被害想定調査結果では、新居浜市における南海トラフ巨大地震による被害想定は、最大震度7、建物被害としては全壊・半壊合わせて全体の61%にあたる48,033棟、死者が1,841人となっております。ごさいます。

また、近年、台風や記録的な豪雨などの自然災害が毎年のように発生しており、今年7月には、秋田県と山形県、また松山市において、さらにはつい先日石川県においても死者が出るなど全国各地で大きな被害をもたらしております。

市といたしましても、様々な災害に備え、避難所における、防災備蓄倉庫の整備や要支援者の個別避難計画の策定など、防災・減災対策の充実、強化に努めているところでございますが、災害発生時に市民の命を守るためには、関係機関の皆様のご協力が不可欠となっております。それぞれが役割をしっかりと果たし、相互に連携を図りながら活動することが重要となっております。

本日ご出席の委員の皆様方におかれましては、本市が目指す『災害に強いまちづくり』の推進に、引き続き、ご支援・ご協力をお願い申し上げます。

このあと、事務局から本日の議案について詳細説明がございましたが、どうか忌憚のないご意見をいただき、また十分にご審議をいただきますよう、お願い申し上げます。開会にあたりましてのご挨拶とさせていただきます。

本日は、どうかよろしくお願いたします。

3 消防委員長あいさつ

…………… 〈 仙波委員長あいさつ 〉 ……………

4 消防委員及び消防幹部職員紹介

…………… 〈 消防委員及び消防幹部職員自己紹介 〉 ……………

5 議案

…………… 〈 仙波委員長議事進行 〉 ……………

議案（1）令和6年度消防行政基本方針について 【消防長説明】

議案（2）令和6年度消防の事務概要について 【総括次長説明】

議案（3）令和6年度消防行事予定について 【総括次長説明】

議案（4）その他（質疑応答）

<質疑応答>

●高塚委員

資料11ページの「消防広報の推進」について、消防広報官の導入のきっかけは。

●後田消防長

導入のきっかけとしては、報道関係者から火災などの報道発表を一元化できないかという要望があったことである。また、消防情報を報道発表する際にも一元化せずに各部署で行っていた。そのあたりを整理して、消防広報官が中心となって災害現場広報と一般広報を一元化して行うということである。

●高塚委員

愛媛県内において、このような体制を取っているところは他にもあるのか。

●高橋予防課長

愛媛県下各市町に確認したところでは、松山市が消防広報官を設置して積極的な広報を推進していると聞いている。

●高塚委員

全国的に消防団員が少なくなってきた、新居浜市でも消防団員募集を広報しているが、今後もそういった活動を継続して、どの程度を目標にやっていくのか。

●伊藤総括次長兼消防総務課長

SNS等による積極的な広報を今後も継続して行い、現状よりも消防団員数が増加できるよう努めていきたい。

●石川委員

資料3ページの「大規模災害等における初動体制時の人員確保の推進」とあるが、新規の職員採用で推進するのか消防内部の職員体制で推進するのかどちらですか。

●後田消防長

新規の職員採用ではなく、消防内部の職員体制で推進していくことを想定している。

●石川委員

資料6ページの職員配置表において、新規採用職員はどこに計上されているのか。

●伊藤総括次長兼消防総務課長

消防総務課の主事の欄に5名計上されている。

●後田消防長

新規採用職員は10月1日付けで消防署に配置換えする予定である。

●田窪委員

資料3ページの「大島、別子山地区の自衛消防力強化に向けた検討」とあるが、具体的にどのようなことを行っていくのか。

●後田消防長

大島については、消防団員が少なく高齢化も進んでいる中で、火災等が発生した際には地域住民の方にも消火活動に入っていただくことが重要であると考えている。そこで消火栓ボックスを各所に配置してホースを繋げば放水できる体制を取っている。日頃行っていることとしては、川東分署の職員において資機材の点検、大島の消防団員・地域住民の方と消火訓練を行っており、今後も継続していきたい。

別子山についても同じように消防団員だけではなく地域の住民の方にも消火活動等をしていただくことを念頭に置いた訓練を計画し実施していきたい。

●田窪委員

資料7ページの「消防団員活動支援事業費」について、消防団員が準中型運転免

許の取得に係る費用を補助するもので、事業費が50万円であるが、何名分になるのか。

●伊藤総括次長兼消防総務課長

5名分である。現在2名の申請があり、今年度中に免許を取得していただくこととなっている。

●高橋委員

女性の消防職員は現在何名いるのか。

●後田消防長

5名である。

●高橋委員

今後増やす予定はあるのか。

●後田消防長

増やす予定である。国においては、令和8年4月までに消防職員に占める女性の割合が5%となるよう要請している。新居浜市では、8名程度で5%となる状況である。

●高塚委員

角野分団詰所の新築により3つの詰所が1つに統合されることとなっているが、消防団員の駐車場に関しては足りているのか。

●伊藤総括次長兼消防総務課長

新しい角野分団詰所の敷地については、非常に広いので駆けつけの際にも十分対応できる。

6 閉会